授業科目名	人間の安全保障	単位数	2単位
担当教員名	内尾太一	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）			

「学位授与の方針」との関係

DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知）
DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）

授業のテーマ及び到達目標

1994年に国連開発計画によって初めて提唱された人間の安全保障（human security）は、国際社会における新たな時代のスタンダードとして普及しつつある。日本も、この考え方を外交の柱の一つに据え、積極的に推進してきた。
では、それは、従来の「国家の安全保障」や、「人間開発」そして「人権」とはどのように異なるのだろうか。このコースでは、国内外を問わず、人々の生存、生活、尊厳を脅かす諸問題をより深く考察・分析するために、人間の安全保障という視点を習得することを目指す。

授業の概要

今日の世界では、紛争、貧困、感染症、災害、環境破壊、テロリズムなど、人間の生活を脅かす恐怖と欠乏が、様々な具体的な形となって現れている。こうした脅威に取り組むために国際社会で提唱された比較的新しい考え方である人間の安全保障について基礎から学ぶ。
また、日本社会における私たちの生活を脅かす恐怖や欠乏にも目を向け、人間の安全保障の議論のテーマとして取り上げていきたい。

授業計画

第１回：グローバルな現代と国際社会の諸問題
第２回：国家の果たす役割とその限界
第３回：人間の安全保障とは何か？
第４回：東西冷戦の終結と非伝統的安全保障論の台頭
第５回：Human Security Now（人間の安全保障委員会最終報告書）
第６回：国家の安全保障、人権、人間開発との関わり
第７回：欠乏からの自由、恐怖からの自由、尊厳をもって生きる自由
第８回：保護とエンパワーメント
第９回：日本の外交と人間の安全保障
第１０回：保護する責任
第１１回：東日本大震災と人間の安全保障
第１２回：生存、生活、尊厳への視座
第１３回：SDGs（Sustainable Development Goals）との関わり
第１４回：身近な社会問題へのアプローチ
第１５回：人間の安全保障の課題と展望
科目修得試験

スクーリングでの学修

テキスト

長有紀枝『入門 人間の安全保障：恐怖と欠乏からの自由を求めて　増補版』中央公論新社。

参考書・参考資料等

（１）国連広報センター（UNIC TOKYO） ビデオシリーズ『人間の安全保障の取り組み』
(https://www.youtube.com/playlist?list=PLNeOpDYSfDiuuzd4FEAWjvli8QD5jUzzF)
（２）JICA緒方研究所『JICA緒方研究所レポート　今日の人間の安全保障』
(https://www.jica.go.jp/jica_ri/publication/booksandreports/20220331_02.html)

学生に対する評価

レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）